

緊急地震速報を館内放送等で使用するために

～緊急地震速報を適切に利用するために必要な受信端末の機能及び配信能力に関するガイドラインから内容を抜粋～

▼何が必要ですか？

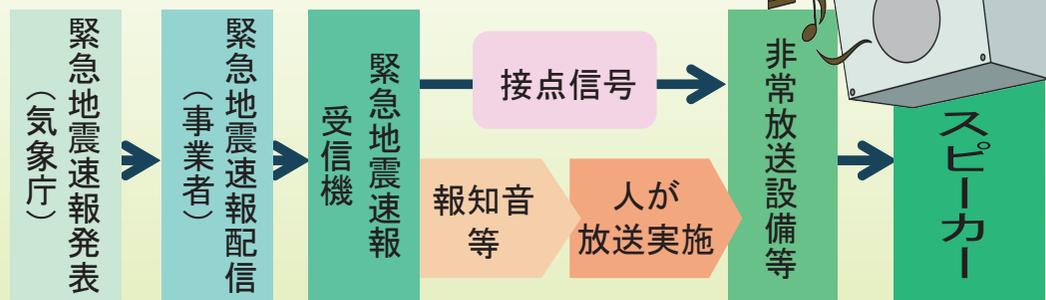
館内放送で緊急地震速報を利用するためには、速報を受信する装置（受信機）と、通信環境が必要です。

受信機を使用することで、特定の場所を指定した揺れの大きさ（震度）や強く揺れる時刻の予想を知ることができます。



▼放送設備に接続できますか？

専用の受信機には、放送設備等と接続し、自動的に放送を開始させる「接点出力」と呼ばれる機能を持つものがあります。導入の際に機能の有無をご確認下さい。なお、放送設備側に他の機器と接続する機能がなかったり、改修が必要な場合もあります。自動的な放送が難しい場合には、手動による放送実施をご検討下さい。以下は、代表的な接続の例です。



▼どこで買えるの？

受信機は設置場所等の事前の設定や、動作させる震度などの事後の設定が必要なため、一般の量販店等では購入できません。放送設備等の導入事業者か、販売やサービスを行っている事業者、あるいは、緊急地震速報に関わる事業者団体である「緊急地震速報利用者協議会」の事務局にご相談下さい。

○緊急地震速報利用者協議会事務局
電話：03-3233-6121 FAX：03-5281-0443

▼いつでも使えるようにしましょう

非常時に利用できるよう、停電時にも使える受信機又はバッテリーを別に用意することを推奨します。

時刻の正確さも重要です。時刻合わせを正確にできる装置かどうかをご確認下さい。

受信機の機能等詳細は「緊急地震速報を適切に利用するために必要な受信端末の機能及び配信能力に関するガイドライン」としてまとめているのでご覧下さい。ガイドラインは気象庁HPで公表しています。
(<http://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/katsuyou/guideline/guideline.pdf>)

●どんな内容で放送するの？

放送の内容は一般に、

(報知音)「ピロン・ポロン」×2回 +

(音声メッセージ)「地震です。落ち着いて身を守って下さい」×2回

という内容を推奨しています。



報知音は日本放送協会が作成した報知音(NHKチャイム音)を推奨しています。

音声メッセージは、短い時間の中で放送を行うため、具体的な予想震度、揺れの到達時間などは放送せず、素早く身の安全を図る内容の放送を推奨していますが、学校等、限られた人向けの放送については、放送内容の工夫も考えられます。

静かなところや賑やかなところなど、放送の対象となる場所を考慮して放送内容を決めて下さい。

●どんな時に放送するの？

建物内にNHKチャイム音を使用して放送する際には、予想される震度が、気象庁が緊急地震速報(警報)を発表する基準である、最大予測震度5弱以上の場合としてします。

なお、受信機を導入すると、特定の場所の任意の震度予測等も活用できますので、建物の耐震化や非構造材の設置状況によって、揺れに対する安全性も考慮のうえ、特に限られた人向けの場合は、任意の震度等で放送基準を定めて下さい。

また、予想には誤差が含まれていますので、予想される揺れの到達時刻に、放送開始が間に合わない時でも放送を開始することを推奨しています。

※非常放送設備に接続する場合には、消防法の定めに従って放送等を行ってください。

●いざという時のために

緊急地震速報が放送されてから強く揺れるまでは、わずかな時間しかありません。受信機を購入する際には情報を瞬時に入手できるものを選びましょう。

放送を聞いてから素早く身を守るためには、あらかじめどのような放送が行われるのかを知り、日頃から訓練しておくことが大切です。

導入にあたっては、訓練機能のある受信機を推奨します。

